

国語 漢字の成り立ち

名前 解答

◎教科書三十四〜三十五ページを読み、空らんをうめましょう。

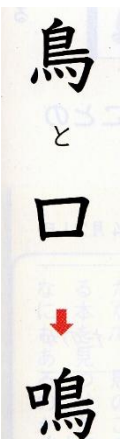
漢字の成り立ちには、大きく分けて次の四つのものがあります。

① (象形) 文字



…目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。

③ (会意) 文字



…漢字の意味を組み合わせたもの。

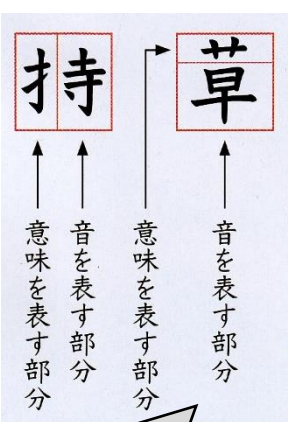
「鳥」が「口」で声を出すことを「鳴く」!

② (指事) 文字



…目に見えない事がらを、印や記号を使って表したもの。

④ (形声) 文字



…音を表す部分と、意味を表す部分を組み合わせたもの。

漢字を分けてできる部分については四年生「漢字の組み立て」で学習したね。復習しておこう!

教科書三十四ページの下に書いてあるよ! 小さかったけど見つけられたかな?

◎次の——線が引いてある漢字は、右の四種類の成り立ちのうち、④にあたるものです。

どの部分が音で、どの部分が意味を表しているでしょうか。例のように音を表している部分を□でかこみましよう。

【例】**草**原 **河**口 **来**週 **案**内**板**

絵画 **国**際**会**議 **銅**像

◎次の漢字の成り立ちを調べ、例のようにノートにまとめましよう。

【1】犬 【2】末 【3】明 【4】清 【5】林 【6】火 【7】中

もっと調べてみたい人は自分の好きな漢字を調べてみてね!

例 **岩** 会意文字 山と石を組み合わせた字。山にある、大きくてごっこつした石のこと